

本書の掲載内容に下記の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともにお詫び申し上げます。

p 1 0 1 の 3 行目 問題 8 の A の解説部分

誤	正
5 m離れた	1 0 m離れた

P 1 9 8 問題 5 の解説

誤	正
Bのガス漏れ火災警報設備、Cの漏電火災警報器、Dの自動火災報知設備の3つになります。	Bのガス漏れ火災警報設備、Cの漏電火災警報器の2つになります。

P 1 9 8 問題 5 の解答

誤	正
(3)	(2)

P 2 2 8 問題 5 (3)

誤	正
※次のものに差し替えます	地階にのみ設置義務がある。

P 2 2 9 「3階のラック式倉庫」

※次のものに差し替えます

⇒ 天井高が10mを超え、かつ、延べ面積が700㎡以上で設置義務が生じますが、ラック式倉庫の場合、主要構造部の構造により2倍読み、3倍読みの適用があります(P216)。問題のラック式倉庫は、耐火構造で内装制限の有無はわかりませんが、少なくとも1400㎡以上なければ設置義務は生じませんので、天井高が12mであっても、設置義務は生じません。

P 2 6 3 問題 7 の (3) の解答

誤	正
【ウの名称】 開放型スプリンクラーヘッド (フレーム型で下向型)	【ウの名称】 水噴霧ヘッド (外部デフレクター型)

p 2 9 2 設問 3

※設問文の1～3行目を次のものに差し替えます

屋内消火栓設備における全揚程は、次式で求められるが、式中、 $h_1$ 、 $h_2$  及び  $h_3$  はそれぞれ何を表しているかを答え、かつ、1号消火栓とした場合のそれぞれを計算式で示しなさい。

p 2 9 2 設問 4

※設問文を次のものに差し替えます

設問 3 の全揚程を計算式を示して求めなさい。

p 2 9 5 設問 4

※次のものに差し替えます

1号消火栓の場合、P292の $h_n = 17$  mなので、

$$\begin{aligned} \text{全揚程は、} H &= h_1 + h_2 + h_3 + h_n \\ &= 3.6 + 6.49 + 18.5 + 17 \\ &= 45.59 \text{ m となります。} \end{aligned}$$